

## 資料3 普及セミナー配布資料

- 開催概要
- 「森林・山村地域活性化振興対策」（林野庁森林利用課）
- 「地域企業と取り組む里山林保全  
未来の子ども達に残したい森作り」（イノホイの森保全会）
- 「萌芽更新ができる里山林をめざして」（なかい里山研究会）
- 「自治会主導の竹林整備  
集約化と一体管理による竹林の再生」（結里山保全活動組織）
- 「アドバイザー活動報告」（静岡県グリーンバンク）
- ワークショップ討議内容メモ記入用紙  
フリーディスカッション記録用紙  
普及セミナーアンケート用紙

# 令和7年度 里山林活性化による多面的機能発揮対策 普及セミナー 開催概要

## 1. 開催日時

令和8年2月9日(月曜日) 10:00~15:30 (受付開始 9:30)

## 2. 開催場所

TKP 田町カンファレンスセンター ホール2A (東京都港区芝 5-29-14 田町日エビル内 2階)

## 3. プログラム

本対策を活用した里山林の保全・整備や山村地域のコミュニティの維持・発展の優良事例を共有し、全国的な里山林の整備を促進するとともに、本対策の活動に対する国民の理解、参加を推進する方策を関係者が考える場とすることを目的としています。

10:00 開会あいさつ(林野庁)

10:05 本交付金について(林野庁)

表彰式 ※表彰状は優良取組団体 13 団体を代表して発表団体 3 団体に授与  
10:15 イノホイの森保全会、なかい里山研究会、結里山保全活動組織

優良取組事例発表 ※各発表後に質疑応答の時間を設けています

10:30 松元修様 イノホイの森保全会・福士憲吾様 (株)refactory(宮崎県)

10:50 小池喜一様・池田宏様 なかい里山研究会(神奈川県)

11:15 吉田正昭様 結里山保全活動組織(熊本県)

アドバイザー活動報告 ※各発表後に質疑応答の時間を設けています

10:30 長谷川剛司様 静岡県地域協議会(公益財団法人静岡県グリーンバンク)

### 講評

11:55 山本信次様 里山林活性化による多面的機能発揮対策評価検証事業  
検討委員会委員長 (岩手大学 農学部 教授)

12:15 昼食休憩(60分)

### ワークショップ・フリーディスカッション

13:15 ワークショップ テーマ: 資源活用の実施例  
※具体的な取組例・工夫点・課題・今後の展開などについて討議し、グループごとに結果を発表していただきます。

ワークショップ発表

14:15 休憩(10分)

14:25 フリーディスカッション テーマ: 地域協議会の運営等  
※『協議会運営上の悩みや対処法』、『4年目以降の活動継続に向けた方策(自治体や企業との連携等)』、『クマ対策を含めた安全対策』、『関係人口を広げる方策』などについて、グループごとにテーマを選んで討議していただきます。

15:25 閉会あいさつ(林野庁)

15:30 閉会 (アンケート用紙記入・提出)

# 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策のうち 森林・山村地域活性化振興対策

令和8年度予算概算決定額 951百万円（前年度 951百万円）

## <対策のポイント>

森業の振興などを通じた山村集落の維持・活性化を図り、森林の多面的機能の発揮を確保するため、手入れが行き届かない、地域の身近な里山林の整備・活用に取り組む活動組織の確保・育成、「半林半X」※も含めた活動の実践を支援します。

※「半林半X」とは、他の仕事でも収入を得ながら、地域の森林資源から林業収入を得ることにより生計を立てるライフスタイル。

## <事業目標>

5年以上継続的に活動している活動組織の割合（70% [令和11年度]）

## <事業の内容>

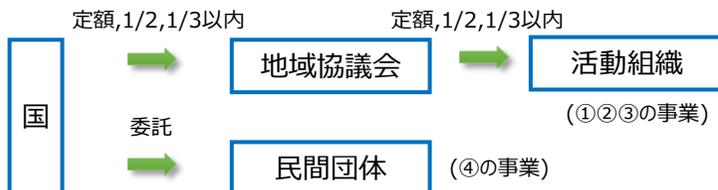
### 里山林活性化による多面的機能発揮対策

森業の振興などによる山村集落の維持・活性化や、森林の多面的機能の発揮に向けて、林業事業体による経営管理がされにくい里山林の整備を促進するため、

- ① 地域協議会が行う活動組織の確保・育成に向けた説明会・体験会の開催、安全な作業技術の習得の支援
- ② 集落活動等として、集落周辺の里山林を活用する取組の支援
- ③ 「半林半X」等を含め、点在する人工林を本格活用する取組の支援
- ④ 活動組織の活動成果の評価検証等を実施します。

※②③については、市町村が定める山村振興法に基づく「山村振興計画」に、里山林の保全活動が位置付けられている場合に優先採択。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>

確保

➤ 里山林の整備・活用に関心のある地域住民等に対して、説明会や活動体験会を開催

育成

➤ 里山林の整備・活用の実践に取り組む活動組織に対する安全対策や施業技術等に関する講習等の実施

➤ 活動組織が行う里山林の整備・活用の実践支援

実践

### 地域活動型



地域住民等が連携し森林資源を活用する活動への支援

最大12.0万円/ha



地域住民等が連携し竹林資源を活用する活動への支援

最大33.2万円/ha

### 複業実践型



半林半X等により本格的に人工林を活用する活動への支援

最大19.1万円/ha

上記活動に必要な路網の作設・改修、資機材の整備、地域外関係者の受入環境整備・調整等への支援、アドバイザーの派遣等による活動サポート



## 森林・竹林資源の素材としての活用例

地域	資源	活用例	補足(あれば具体例)
北海道・東北	森林	○薪	
		○木炭	
		○きのこ原木・ほだ木	林内植菌・伏せ込みを含む
		○山菜、きのこ	
		○丸太	小屋の建築用
		○日用品、雑貨	クラフト材料
		○チップ	チップを活動森林内で利用(散布)
		○バイオマス発電所の燃料	
		○土木・園芸用資材	作業用歩道の階段・土留め用杭
	○その他	樹液シロップ、イタヤカエデ樹液	
	竹林	○タケノコ	
		○日用品、雑貨、伝統工芸品	流しそうめんの樋、菅笠(予定)
		○農業・畜産用資材	粉碎して肥料に
		○土木・園芸用資材	花壇周りの侵入防止柵、垣根、支柱
関東	森林	○薪	
		○木炭	
		○きのこ原木・ほだ木	
		○丸太	用材として製材所へ出荷、チップ用材
		○山菜、きのこ	
		○チップ・パウダー	農業用資材、作業道の資材、おが粉
		○家具	テーブル、イス、ベンチ
		○農業・畜産用資材	農業や苗木の支柱、たい肥置き場の柵等、落ち葉を腐葉土化、粉碎してたい肥原料
		○土木・園芸用資材	土留め、簡易柵、杭、歩道・作業道資材、粉碎して散策路に敷く
	○その他	カブトムシの飼育、アロマ利用、バイオネスト、看板(看板の枠)	
	竹林	○タケノコ、タケノコ加工品	メンマ
		○竹炭	
		○日用品、雑貨、伝統工芸品	竹細工用材、竹灯籠
		○チップ・パウダー	農業資材、作業道資材、おが粉
○農業・畜産用資材		農業や苗木の支柱、土壌改良材	
○土木・園芸用資材	ななこ垣、杭		
中部	森林	○薪	
		○木炭	お茶炭
		○きのこ原木・ほだ木	
		○丸太	用材として市場へ出荷
		○山菜、きのこ	しいたけ(道の駅で販売)、刈払後の林床で栽培したきのこ「さまつ」を地元小学校で給食食材に活用
		○日用品、雑貨	木製おもちゃ、木工用材(広葉樹)
		○チップ	防草用
		○土木・園芸用資材	土留め、山小屋の建材や薪の棚、木杭、支柱、歩道・作業道の資材、歩道の階段資材、粉碎した灌木や枝葉、刈払した草木で堆肥に
		○バイオマス燃料	
	竹林	○タケノコ、タケノコ加工品	タケノコ塩漬け
		○竹炭	ポーラス竹炭、竹炭塩、土壌改良材
		○日用品、雑貨、伝統工芸品	雪囲い、竹トンボ、水鉄砲、竹籠、門松(ミニ門松)、茅葺屋根の下張り
		○チップ	防草用、活動森林で散布、農地に利用
		○農業資材	山芋の棚、野菜の支柱
○土木・園芸用資材	竹杭、支柱、間垣		
○その他	塩づくり用資材、DIYの材料		

地域	資源	活用例	補足(あれば具体例)
近畿	森林	○薪	キャンプ・サウナ用
		○木炭	キャンプ・サウナ用、土壌改良材
		○きのこ原木・ほだ木	
		○丸太	
		○日用品、雑貨、伝統工芸品	クラフト用材、工作用材、木工品、地域のイベントでの飾り、登山用の杖
		○家具	ベンチ
		○チップ	林内・圃場へ散布
		○土木・園芸用資材	土留め、杭材、作業道・歩道資材(路肩保護材)、遊歩道資材、階段、表示板、手すり等資材、たい肥、植樹した樹木の支柱、
	○その他	神社にて篝火の材料、自治会・団体で行うとんど焼の燃料、神社の祭事用の薪	
	竹林	○タケノコ、タケノコ加工品	メンマ
		○竹炭	農業用土壌改良材
		○日用品、雑貨、伝統工芸品	竹細工、地域のイベントでの飾り、十日えびす向けの笹、神社での篝火の材料
		○チップ	作業道の舗装材、防草資材、土壌改良材、作業道の土質改良、水田用たい肥
		○農業・畜産用資材	支柱、肥料、馬の餌
○土木・園芸用資材		土留め	
中国・四国	森林	○薪	薪ストーブの燃料として地区に提供
		○木炭	
		○きのこ原木・ほだ木	
		○山菜、きのこ	薬用植物(ウラジロガシ)
		○丸太	共販所、市場、製材工場へ出荷
		○チップ・パウダー	林内散布、枝葉などをチップにし土壌改良材に
		○建築資材	
		○土木・園芸用資材	作業道資材(土留め・丸太組工法)、植木鉢の外枠、歩道資材、暗渠排水や作業道排水の資材
	○バイオマス発電所の燃料	チップとして販売	
	○その他	学校等への木材提供	
	竹林	○タケノコ、タケノコ加工品	幼竹の利用、茹でタケノコの製造
		○竹炭	農業用土壌改良材
		○日用品、雑貨	竹細工、煙突掃除器具の試作品、竹でつくる和紙、茶せん
		○チップ・パウダー	堆肥化して農家に販売、マルチング材、農業用土壌改良材
○農業・畜産用資材		肥料、土壌改良材、家畜飼料に混ぜて糞尿臭を軽減	
○水産業用資材		カキ筏材	
○土木・園芸用資材		竹杭、伐採竹が流下しないよう杭に使用	
○その他		学校等への木材提供	
九州・沖縄	森林	○薪	
		○木炭	
		○きのこ原木・ほだ木	
		○丸太	スギ・ヒノキ間伐材の搬出・販売
		○家具	ベンチ
		○日用品、雑貨	さかき、椿油、まな板、木工材料、工芸品材
		○チップ	
		○土木・園芸用資材	土留め用資材(枝葉含む)、林内に設置する階段・手すり用資材、散策路の樹名板、遊歩道補修資材、落ち葉堆肥
	竹林	○タケノコ、タケノコ加工品	メンマ
		○竹炭	ポーラス竹炭
		○竹材	竹炭の材料としてメーカーへ
		○日用品、雑貨、伝統工芸品	箆材、竹灯籠(竹灯り)(子供向けイベントで使うものを含む)、山笠の山車、流しそうめん用資材、その他竹細工、
		○チップ	土壌改良材
		○農業・畜産用資材	竹柵、土留め用資材、支柱
○水産業用資材	カキ筏材		

# イノホイの森保全会

地域企業と取り組む里山林保全  
未来の子ども達に残したい森作り



工事名	森林小村多面的交付金
工種	令和7年10月12日
測点	4ヶ所草刈り作業前
侵入竹伐採 階段修復作業	

宮崎県東諸県郡国富町

# 自己紹介

松元 修

宮崎市出身 1973年生まれ

会社員

趣味 カブトムシやクワガタ

を採りに行くこと

昆虫飼育

森の活動を始めたきっかけ...

国富町の杉伐採の後放置された山林  
が高齢化の為放置されている現状を  
未来の子ども達に残せる環境にしたい！



# 自己紹介

福士 憲吾

北海道出身 1984年生まれ

罨メーカー 勤務

趣味 ランニング、サーフィン  
等

森の活動を始めたきっかけ...

鳥獣被害対策と環境保全には関連性が多く、多角的な視座で対策に取り組みたいと考えたため



# イノホイの森保全会の概要

設立：令和5年

会員：11名

構成員：10代～50代のイノホイの森  
近隣の市町村から集まった  
自然が好きなメンバー

活動内容：地域の方々や子ども達が憩  
える森づくり

具体的には

- ・下草刈り、灌木や竹の除伐
- ・苗木の植栽
- ・森林資源を活用した体験型イベント
- ・地域の伝統文化の継承 など



# イノホイの森の概要

所在地：宮崎県東諸県郡国富町

面積：約0.5ha

クヌギやイヌダラなどの雑木林と真竹などの竹林が隣り合う森林

## 整備を開始したきっかけ

- ・所有者の高齢化のため長年未整備
- ・イノシシやシカによる近隣農地での被害
- ・地域の子どもたちの通学路でもあることから有志で近隣の里山林整備を開始



※国富町ウェブサイト「町の概要」より引用

宮崎県の県中部に位置する国富町。

人口は約1万7千人。

面積の6割を森林が占める自然豊かな場所。



# 会の活動を支え応援してくれる企業

私たちの活動を知り、  
応援してくれる企業  
罾メーカー「イノホイ」

ネーミングライツ  
スポンサーとして共に  
活動をスタート。

会のメンバーとして森  
の整備活動・イベント  
にも積極的に参加・応  
援してくれている。

鳥獣被害対策グッズ販売  
**イノホイ**

店舗アクセス方法を見る

お電話はこちらから  
**050-8880-2330**  
受付時間：9:00-17:00（土日祝日を除く）

FAXはこちらから  
**0985-68-3695**  
FAXは24時間受け付けております

お気に入り ログイン カート 新規登録

はじめの方へ 罾ガイド ご利用ガイド お支払い方法 よくある質問 お客様の声 鳥獣被害対策マガジン

商品一覧 動物から探す 箱罾 くくり罾 パネ・パーツ類 自作キット 防獣グッズ 監視カメラ 電気罾 検索

2025-2026年度カタログ  
鳥獣被害対策グッズ販売  
**イノホイ 罾**  
050-8880-2330  
FAX: 0985-68-3695  
mail: contact@inohoi.com

最新カタログ  
カタログをみる

キーワードから探す

よく獲れる！  
あります。  
負けない頑丈な箱罾  
購入可能！

足くくり・鼻くくり兼用くくり罾「TSJ」

アタッチメント1つで  
鼻くくり・足くくりへの切り替え可能

ALLステンレス  
振る手間なし

INOI  
会員登録  
三郎会員  
初回500円割引

干支で占う狩猟運  
運勢を見る

# 私たちが大切にしている思い

この世に生まれてきた全ての  
生命は宝であること

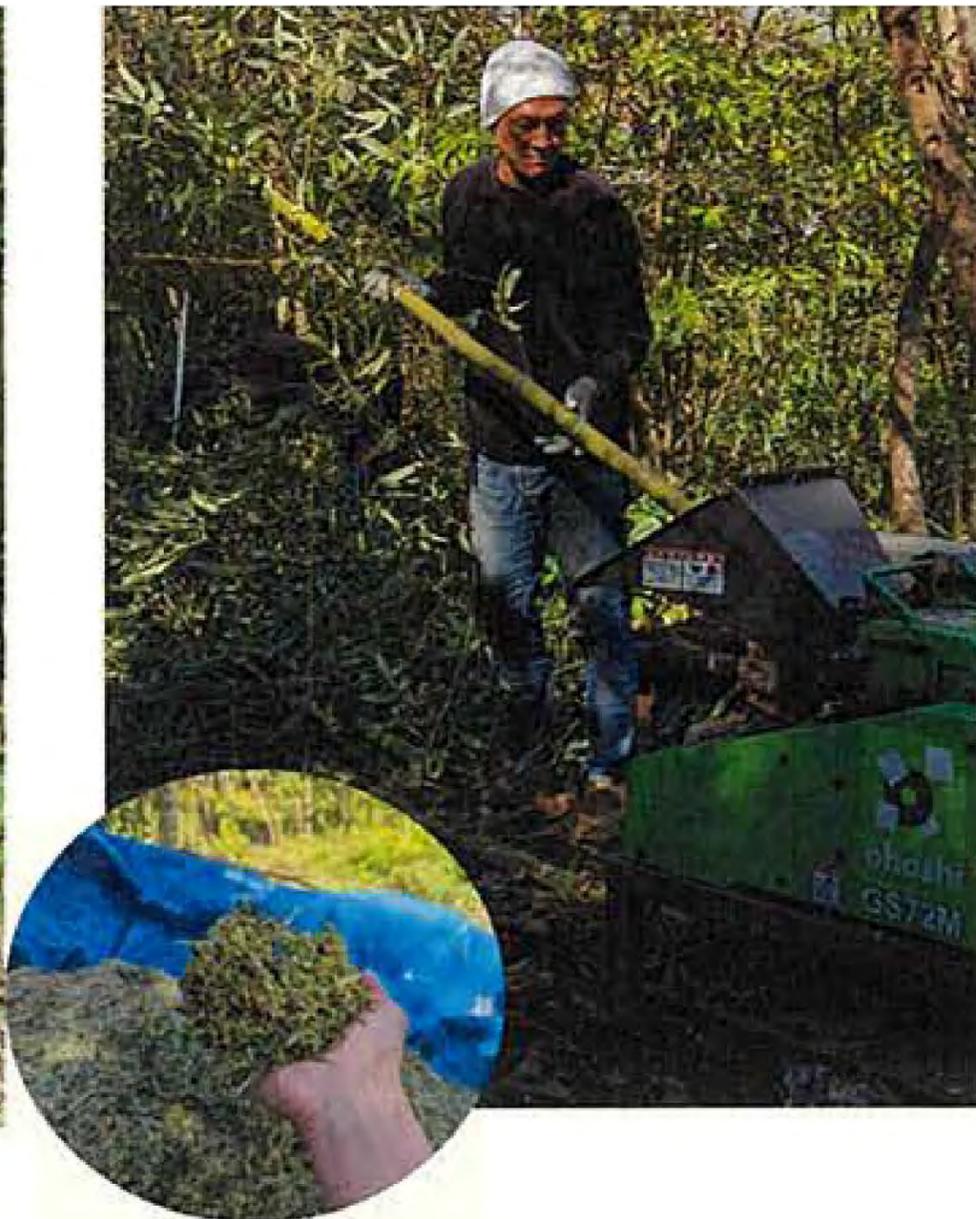
人間や動物、草木や昆虫  
そして恵みの大地と青い海が  
存在するのも意味があると思  
っています。



# 森林整備活動



侵入竹の伐採



チップパーで竹の粉碎



苗木の植樹

# 里山整備が繋ぐ地域の伝統文化



国富町に1200年伝わる郷土玩具があります。

日本三大薬師寺ともいわれている法華嶽薬師寺発祥の法華嶽うずら車です。

現在は製作者が一人。高齢のため引退を考えておられるとか。

伝統文化の継承者として1200年の歴史を次の世代に引き継ぐ役目「うずら車保存会」を発足。



**宮崎県国富町の郷土玩具を、次の世代に繋ぐ**

**日向法華嶽 うずら車保存会**

**歴史**

約1200年前の平安時代、高僧が、現在の法華堂通称の山頂に建立する際、本殿の柱を削った木片が、偶然にも鳥のウズラの姿に似ていることに気づきました。高僧はその木片に目や羽を描き、ウズラの姿として御尊像にお供えしと伝えられています。以来、来る日も来る日も熱心に礼拝を続けていたと、ある日そのウズラの木片が、声高らかに鳴き出した。この不思議な出来事が、「うずら車」のはじまりといわれています。

この伝説から、やがて法華堂うずらに車をつけた郷土玩具が生まれました。

かつては毎年2月の法華堂通称大祭の日には、集落で作ったたくさんのうずら車が参道沿いで売られていました。赤と黒の絵付けの決まり以外は自由で、その家々で異なるウズラの表情や模様だったと言われています。大祭の日には縁起物として多くの人がお土産として購入していました。

**保存会の発足**

2023年、有志が集まり「法華堂うずら車保存会」が発足しました。後継者の育成と認知度の向上を目標に掲げ、町内のイベントや小学校などで紙芝居を通してうずら車の歴史を伝えたり、絵付け体験を実施するなど、伝統の魅力を広める活動を行っています。

**伝統が途絶えかけた危機**

うずら車の材料であるイヌシタの木は非常に硬く、加工には熟練の技術と大きな力を要します。そのため、長年にわたり製作を担ってきた職人たちは高齢化が進み、次々と引退していきました。2024年には、制作者は伝説に基いた小山五郎さんただ一人となり、このままでは「うずら車」の伝統が途絶えてしまう危機を迎えました。

**INFORMATION**

うずら車保存会では、もっと身近に感じてもらうため、うずら車のデザインを販売しています。Instagramで公開中です。

**INSTAGRAM**



法華堂うずら車保存会



- 森のタラの木を材料として提供。
- 各種イベント等で絵付け体験や製作体験等を行っている。
- 国富町在住アーティストとデザイナーが手掛けるグッズの販売。



# 子どものための自然体験イベント

たたき染め・竹のオカリナ作り・竹馬作り（昨年度参加者：約40名）



# 四季を楽しむ自然体験で森の魅力を発信



宮崎の郷土料理  
灰汁巻き作り



森の木や葉で草木染体験



森の葉でたたき染め

# 今後の課題と展望

- 地域住民や子ども達が気軽に憩える森作り  
(階段や道、休憩スペース)
- 森や竹林資源を利用した商品開発
- 植樹等による生態系を守る森づくり  
(カブトムシの森作り)





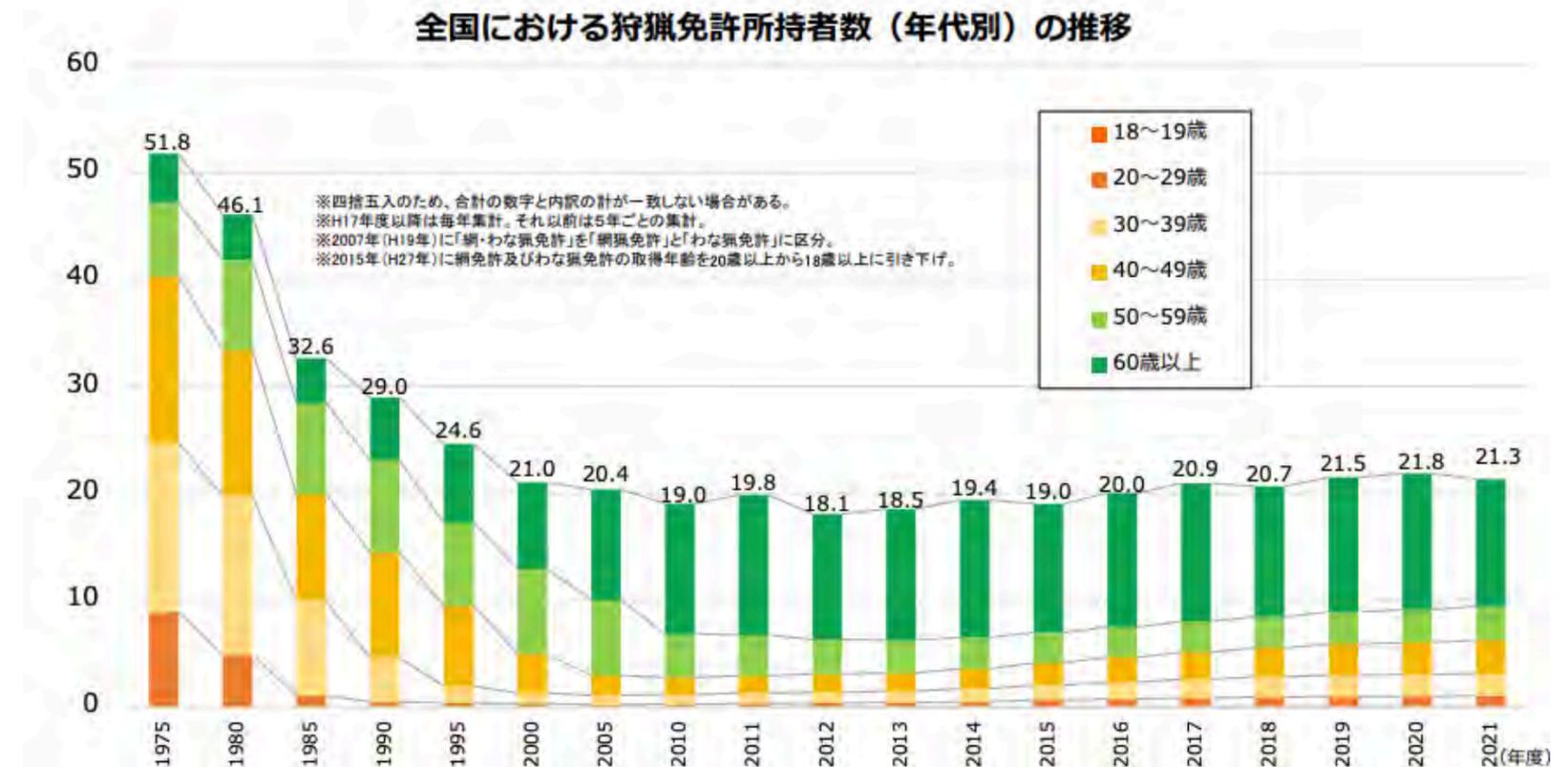
私たちの団体は、自然を愛する  
様々なバックグラウンドや技術を持  
つメンバーが集まって活動していま  
す。

全ての命にはそれぞれに役割があ  
ることを大切に、次の世代に美しい  
地球のバトンを渡せるよう、活動を  
継続していきたいと思っています。

# イノホイとしての考え

- ・ 狩猟者の育成、若年層への狩猟に対する興味喚起
- ・ 里山の環境保全に対して、実地活動から様々な知見を得る  
※今回の普及セミナー参加も非常に貴重な機会である

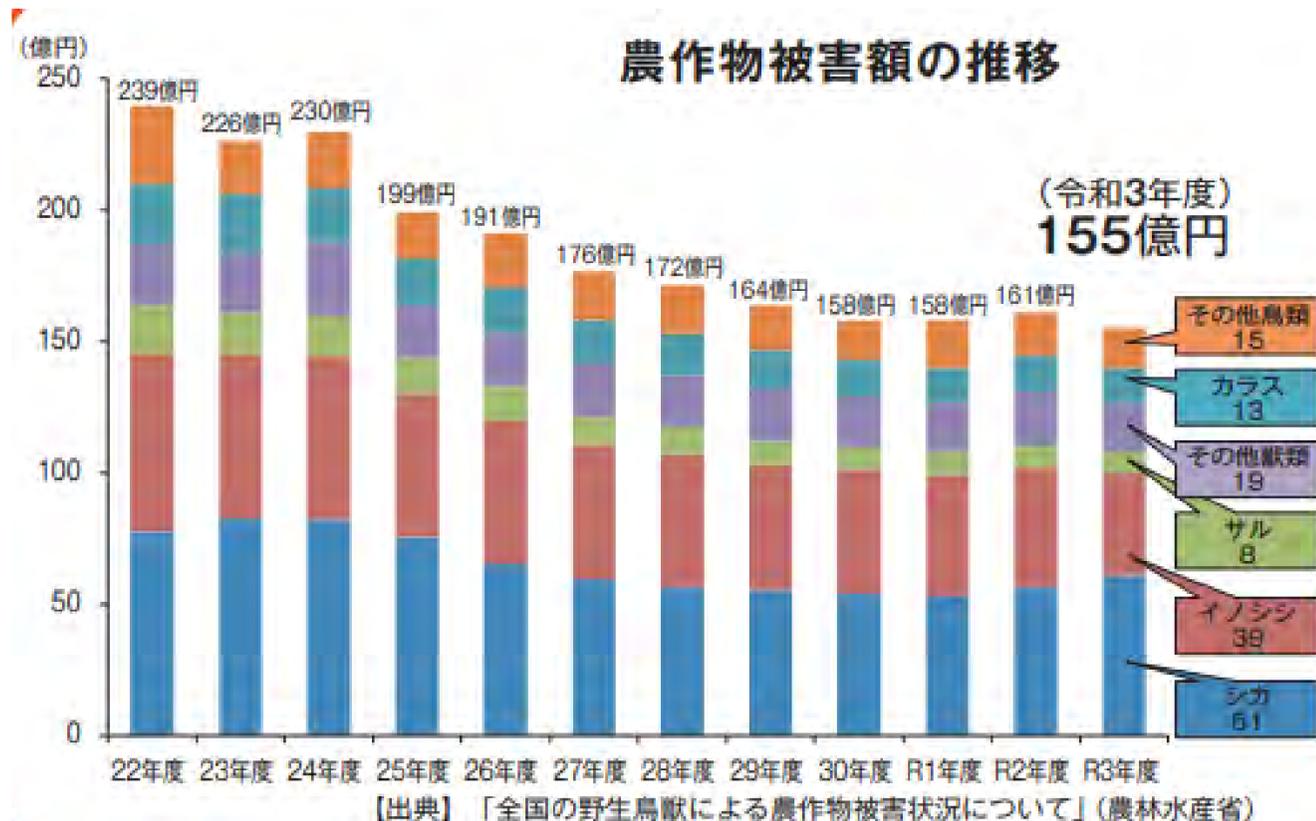
環境省WEBサイトより抜粋



# 社会課題の解決

・ 狩猟のための罠 < 農作物被害の軽減

・ 環境整備、防護/忌避、捕獲といった一連の被害対策においてより効果的な被害対策を模索



The image shows two hand-carved wooden rabbit figurines standing on a light blue table. The rabbits are made from light-colored wood with dark bark on their bodies. They have simple black markings for eyes, whiskers, and mouths. The background is a bright outdoor setting with green foliage and a building in the distance. A white rounded rectangular box is overlaid on the center of the image, containing the Japanese text 'ご清聴ありがとうございました' in a dark green font.

ご清聴ありがとうございました

# 萌芽更新ができる里山林をめざして



なかい里山研究会

# 神奈川県中井町と「なかい里山研究会」のご紹介

- 中井町は、神奈川県南西部に位置し、面積約20 km<sup>2</sup>、人口約9,000人
- 町北部の東名高速道路秦野中井インターチェンジから、東京都心へ車で約1時間弱（65キロメートル圏内）
- 里山の暮らしと都市的生活を享受できる「里都（さと）まち」
- 研究会は、平成17年、里山資源の保全と利活用を目的に設立



出典：地理院タイルの標準地図に中井町の町域、地名等を付記した。

(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

## 荒廃した里山林の人工更新をめざす活動

4年前（作業開始前）、人工更新エリアは、ササ、灌木、ツルに覆われ、大径木化したニセアカシア、ナラ枯れ被害木を含む枯損木等が多数。



## 荒廃した里山林の人工更新をめざす活動（1年目）

- ・ 1年目は、ササや灌木の刈払い、ツル切り、倒木処理等を実施
- ・ 作業環境が整い、見通しも改善



## 荒廃した里山林の人工更新をめざす活動（2～3年目）

- ・ 2年目と3年目は、大径木化したニセアカシア、ナラ枯れ被害木等を伐倒



## 荒廃した里山林の人工更新をめざす活動（3年目）

- ・ 3年間の集大成として、伐採跡地にコナラとクヌギの苗木を植樹
- ・ 苗木はドングリから育てたものを使用（竹筒ポット苗の試みも）



## 荒廃した里山林の人工更新をめざす活動（第2期）

- ・今年（4年目）は下草刈り。刈払い機で除草した後、苗木周辺は手作業で丁寧に除草とツル切りを行った。
- ・5年目以降も下草刈り、ツル切り、枝打ち等を継続し、萌芽更新できる森をめざす。



## 今年度から、新たに萌芽更新にも挑戦

- ・萌芽更新エリアは、15年ほど前に皆伐した跡地に植樹、下草刈り、除伐、ツル切り、枝打ち等を行い、理想の森が実現



## 今年度から、新たに萌芽更新にも挑戦

- ・ 2年間の試行を経て、令和7年度から交付金を使い、本格的な萌芽更新に挑戦

試行区画は、萌芽枝が1年で2mほど成長した株も（R7.6.12撮影）



R7から本格実施。伐採後、1か月程度林内で葉枯らし(R7.12.15撮影)



## 関係人口創出維持

- ・ 地域協議会のマッチングにより、令和6年度は他の活動組織による植樹の支援、令和7年度は都内のB型就労支援施設によるキノコ原木の玉切りと搬出の支援を受けた。

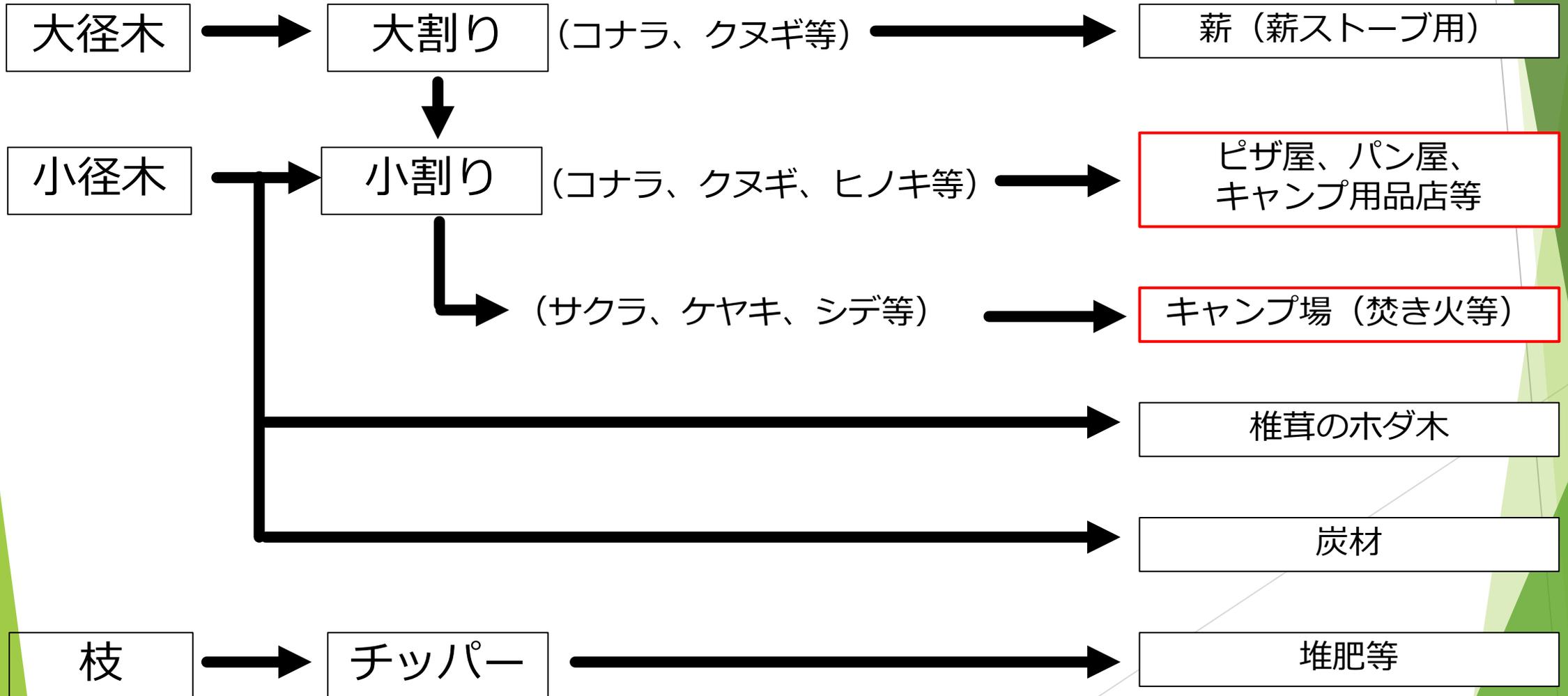


## 伐採木の循環利用、地域連携

- ・ 伐採木は、薪、炭、キノコ原木、木酢液、木工品などとして利用・販売
- ・ 長年の取組の実績が認めれ、町が整備した地域経済活性化拠点「なかい里都まちC A F E」内でも販売

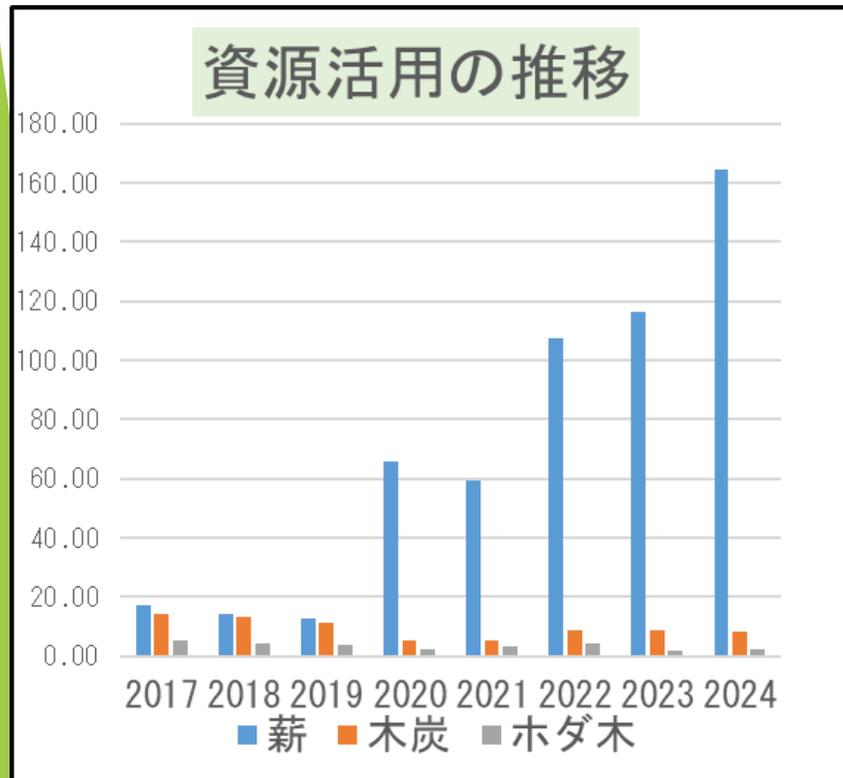


# 伐採木の利活用先



# 新たな商品化への挑戦

- ・ 薪以外の資源活用も成長させたい
- ・ 多様な知識や技術をもつメンバーが加わり、インテリア等の新商品の販売も開始



## 活動上の課題とその対応策、今後の展開等

- ・ シカによる食害への対策  
刈り込みすぎないように注意
- ・ 新規会員の加入促進  
Facebook等で情報発信
- ・ 大径木・困難木の伐採  
安全衛生装備を着用した熟練者と平坦地に限定  
※熟練者を確保できない時等は無理せずプロに委託
- ・ 森林資源の活用  
薪、炭、キノコ原木等に加え、新たな商品化も含めて  
積極的に取り組む

## ご清聴ありがとうございました

---

交付金の採択により、私たちの活動が林野庁から認められた思いがし、誇りに感じるとともに、活動意欲が更に高まり、森づくりの知識習得や安全に対する意識と技能の向上につながりました。萌芽更新への挑戦など、今までとは異なる取組にも着手できました。

これからも、中井町の宝である「里山資源」の保全と利活用を、明るく、楽しく、進めて参ります。

# ご清聴ありがとうございました



# 自治会主導の竹林整備 (集約化と一体管理による竹林の再生)

結(むすぶ)里山保全活動組織

令和8年2月9日

# 活動組織の概要

- 活動組織名：  
結(むすぶ)里山保全活動組織
- 設立年：  
令和4年
- 構成員：29名（主に自治会）
- 活動場所：熊本市北区植木町清水（結地区）
- 活動の実績：令和4年度から令和6年度
- 活動メニュー：竹林整備・侵入竹除去
- 活動面積：3.3ヘクタール



# 地域の概要



## 熊本市の行政区区域図



※熊本市ウェブサイトより引用  
<https://www.city.kumamoto.jp/kiji0031843/index.html>



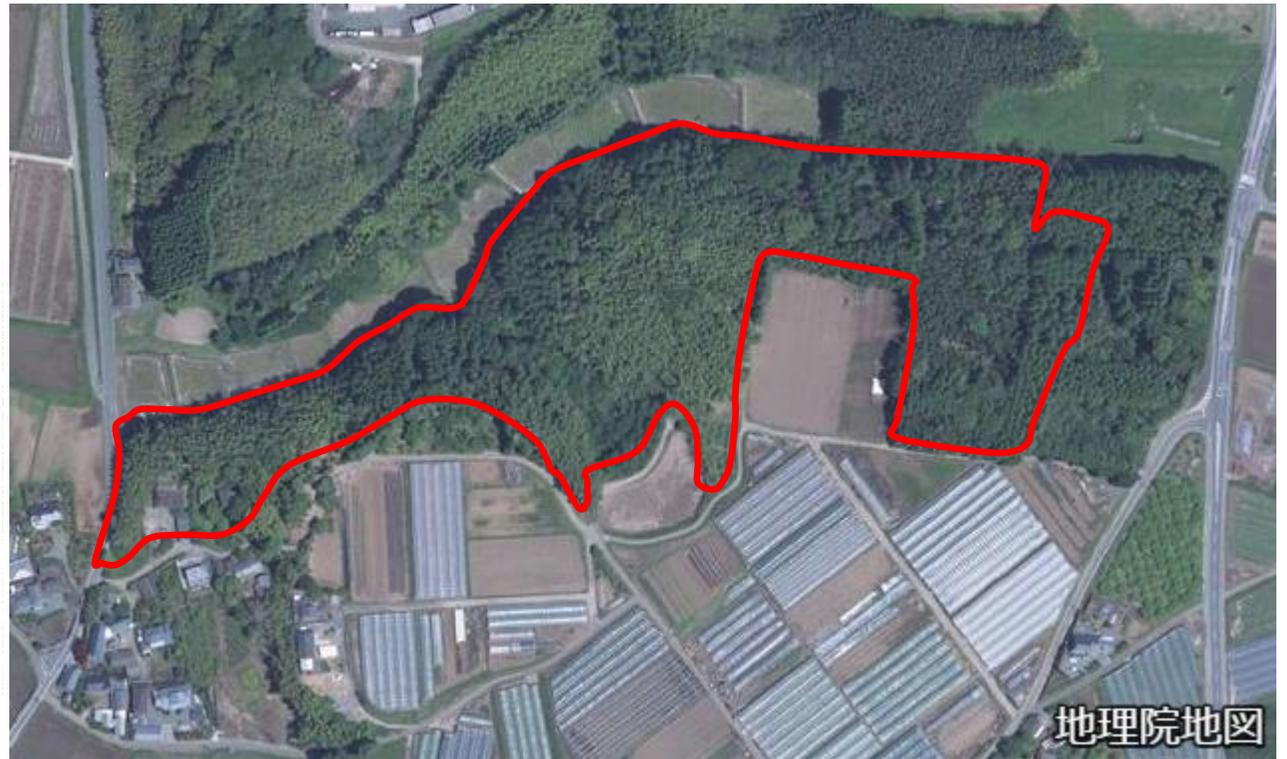
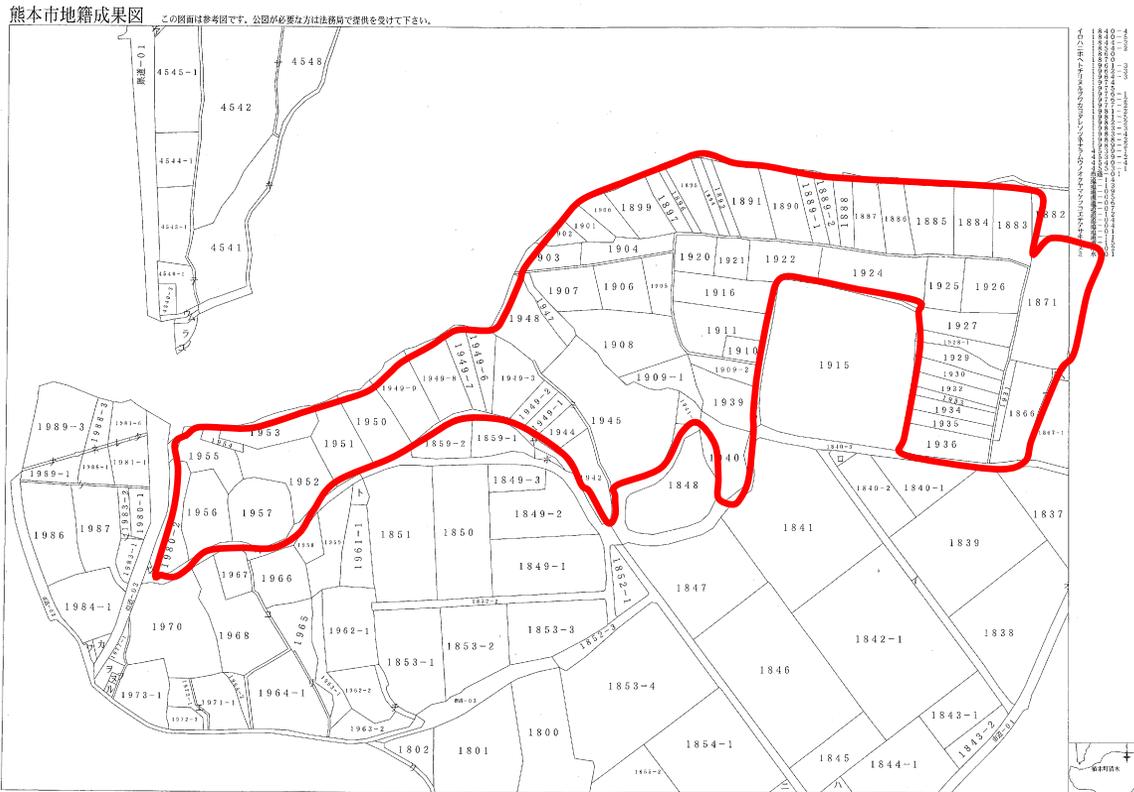
※熊本市ウェブサイトより引用  
<https://www.city.kumamoto.jp/html/uekitokureiku/kanko/index.html>



特産物は植木スイカ・メロン



# 活動を始めるきっかけ



地理院地図

※地理院タイルに活動区域を示す赤色線を追記して掲載  
地理院タイル一覧ページ(<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)



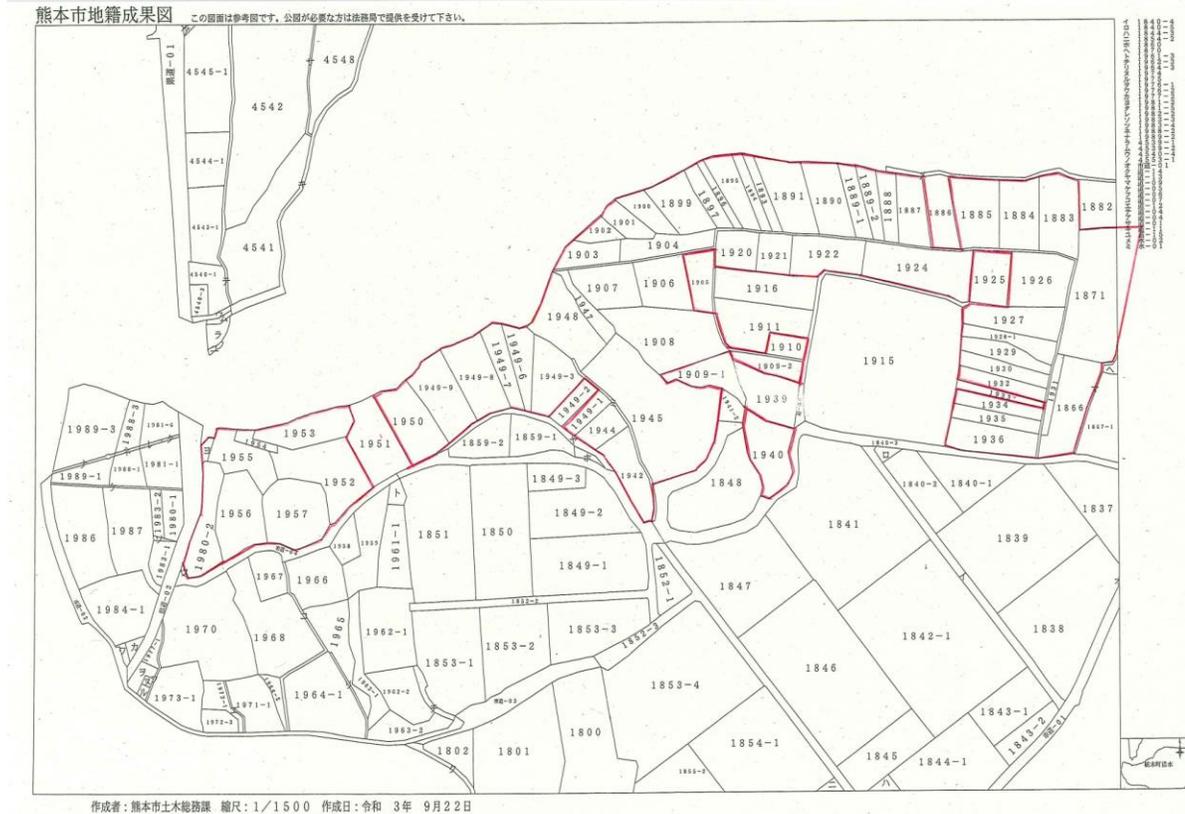
# 活動の目的

- 「所有者による山の管理」
- 「タケノコの生産」
- 「日照被害の軽減」
- 「鳥獣被害の減少」
- 「自治会の枠を超えた人間関係の構築」
- 「山に親しむきっかけづくり」



# 活動前の最初の関門

- 55筆の所有者探索
- 協定書の締結
- 不在村者多い



協定地	土地名	協定人・関係者・管理人	用途	小冊子	大字	小字	活動組織名		面積 (㎡)	同意書	権利関係	備考
							結団山形全活動組織	結団山形全活動組織				
	井行正村				熊本	上ノ原	1886	山形	958			
	中村保康				熊本	上ノ原	1871	山形	1,840			
	高野利夫				熊本	上ノ原	1883	山形	848			
	小清水清樹				熊本	上ノ原	1884	山形	762			
	井本幸三				熊本	上ノ原	1885	山形	857			
	石ノ丸隆一				熊本	上ノ原	1886	山形	941			不参加
	井本幸三				熊本	上ノ原	1887	山形	553			
	井本幸一				熊本	上ノ原	1888	山形	325			
	井行和寛				熊本	上ノ原	1889-1	山形	343			
	井本幸一				熊本	上ノ原	1889-2	山形	357			
	黒川源				熊本	上ノ原	1890	山形	738			
	松本義雄				熊本	上ノ原	1891	山形	824			
	高野孝子				熊本	上ノ原	1893	山形	218			
	高野孝行				熊本	上ノ原	1894	山形	226			
	中島信次	高野孝子			熊本	上ノ原	1895	山形	488			
	高野信隆	高野孝一			熊本	上ノ原	1896	山形	155			
	高野信隆	高野信隆			熊本	上ノ原	1897	山形	350			
	高野信				熊本	上ノ原	1898	山形	646			
	上田清一				熊本	上ノ原	1899	山形	335			
	井本正隆				熊本	上ノ原	1901	山形	292			
	松本義雄				熊本	上ノ原	1902	山形	295			
	井行正村				熊本	上ノ原	1903	山形	390			
	川口清				熊本	上ノ原	1904	山形	951			
	黒山成徳大工				熊本	上ノ原	1905	山形	415			住所不明
	松本幸				熊本	上ノ原	1906	山形	687			
	高野信隆	高野孝一			熊本	上ノ原	1907	山形	690			
	黒山弘人				熊本	上ノ原	1908	山形	1,404			住所不明
	黒山成徳大工				熊本	上ノ原	Jan-09	山形	519			住所不明
	高野孝文				熊本	上ノ原	Feb-09	山形	316			
	高野孝三郎				熊本	上ノ原	1910	山形	236			
	高野孝子				熊本	上ノ原	1911	山形	984			管理
	松本義雄				熊本	上ノ原	1916	山形	861			管理
	高野				熊本	上ノ原	1920	山形	430			
	黒山幸一				熊本	上ノ原	1921	山形	363			
	高野孝子				熊本	上ノ原	1922	山形	741			
	高野孝文				熊本	上ノ原	1924	山形	1,202			
	中村敏行				熊本	上ノ原	1925	山形	555			死亡
	中島信行				熊本	上ノ原	1926	山形	887			
	上田清次				熊本	上ノ原	1927	山形	733			
	井行和寛				熊本	上ノ原	1928	山形	388			
	井本正隆				熊本	上ノ原	1929	山形	394			
	上田清一				熊本	上ノ原	1930	山形	396			
	松本義雄	高野孝一			熊本	上ノ原	1931	山形	175			住所不明
	井行正村				熊本	上ノ原	1932	山形	356			
	上野義隆				熊本	上ノ原	1933	山形	179			
	松本義雄	高野孝一			熊本	上ノ原	1934	山形	341			
	松本幸一				熊本	上ノ原	1935	山形	341			
	高野孝文				熊本	上ノ原	1936	山形	688			
	高野孝子				熊本	上ノ原	1939	山形	713			
	高野孝三郎	高野孝子			熊本	上ノ原	1942	山形	641			
	松本義雄				熊本	上ノ原	1944	山形	334			
	高野信隆	高野孝一			熊本	上ノ原	1945	山形	2,804			
	高野信隆				熊本	上ノ原	1947	山形	271			
	高野信隆	高野孝一			熊本	上ノ原	1949-1	山形	244			
	高野信隆				熊本	上ノ原	1949-2	山形	244			不明
	高野信隆	高野孝一			熊本	上ノ原	1949-3	山形	736			
	山下清隆				熊本	上ノ原	1949-4	山形	429			施設入所
	井行正二				熊本	上ノ原	1949-7	山形	429			
	高野信隆	高野孝一			熊本	上ノ原	1949-8	山形	858			
	井行和寛				熊本	上ノ原	1949-9	山形	858			
	高野信				熊本	上ノ原	1951	山形	889			住所不明
	高野孝文				熊本	上ノ原	1952	山形	1,294			
	松本義雄				熊本	上ノ原	1953	山形	899			
	高野孝文				熊本	上ノ原	1954	山形	120			
	高野孝子	松永敏雄			熊本	上ノ原	1955	山形	714			
	高野孝子				熊本	上ノ原	1951	山形	55			

# 整備方法

- 1 筆が狭い
- 人の山を通らなければ自分の山に行けない
- 筆を横断するように作業道の整備
- その後、枯竹や折れ竹の除去
- 密集竹林の間引き・除伐
- 竹材の活用
- タケノコや穂先タケノコの収穫



# 資源の活用



カキ筏用



チップ化



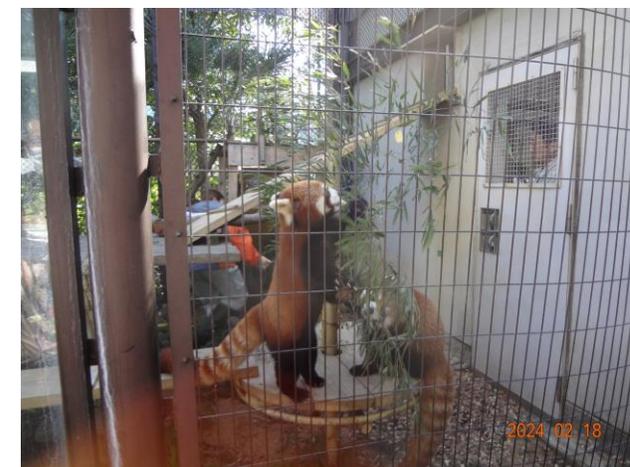
穂先タケノコ（缶詰用）



穂先タケノコ（缶詰用）



レッサーパンダの餌



レッサーパンダの餌



# 活動の成果・効果

➤竹を適切な密度に維持しタケノコが収穫できる竹林を目標

- ✓令和4～6年度の3年間で、数値目標の4,000本/ha達成
- ✓令和6年度に収穫したタケノコは個々人で収穫
- ✓缶詰用として農協に出荷した穂先タケノコは約150kg
- ✓竹林整備により、周辺農地の日照被害が軽減
- ✓獅子罾の設置によるイノシシの捕獲
- ✓鳥獣被害を大幅に減少





## 継続的な活動

- 見向きもされなくなった里山の存在意義が回復
- 多くの人々にとって親しみの持てる場所になりつつある





# 活動上の課題、 その対応策

- ▶ 森林整備に関心のない山林所有者や地域住民をいかに巻き込むか
  - ✓ 農家の担い手
  - ✓ 定年退職者
  - ✓ 地域外の地縁者の協力
- ▶ 粘り強い取組を続ける中で、所有者や地域住民の意識も少しずつ変化
- ▶ 里山を通じ、地域を超えた親しみの場所にしたい

# 今後の展開

- 継続的な活動に向けて活動基盤を強化
  - ✓ 収益を上げる努力
  - ✓ 親しみを持てる里山
  - ✓ 環境保全やレクリエーションの場の創出
  - ✓ 整備後の土地の管理は、各所有者が行うことを原則
  - ✓ 不在村所有者等より管理の依頼があれば、可能な範囲で対応

# 今後の展開

新規構成員  
の確保

都市住民へ  
の里山体験  
の提供

地域の現  
状・活動内  
容を発信

若い世代の  
活動への参  
加を促す

# 他の活動組織への一言

- 活動開始時に主となる構成員を少なくとも5～6名程度を揃えておく
  - ✓相互に協力し補完
  - ✓計画的かつ余裕を持った作業
  
- 作業に対する人件費を支払う仕組みを導入
  - ✓地域外の人々にも作業の手伝いを気兼ねなく依頼
  - ✓地域外の活動協力者の増加につながります

# 本交付金を利用してよかったこと

山林の様子が改善

関心がなかった地域の人々に喜んでいただけるようになった

共同作業を重ねるごとに会員同士の交流が深まり

相互の信頼関係が強化

イノシシの供養も兼ねたバーベキューの会

辛い作業ながらレッサーパンダの話題

今回全国表彰を受けることが出来たこと



エンリッチメント大賞記念受賞式

A red panda is seen through a chain-link fence in an enclosure. The panda is looking towards the camera with its mouth slightly open. The enclosure has wooden structures and bamboo branches. The background is bright and overexposed.

清聴ありがとうございました。

令和7年度普及セミナー

# 「アドバイザー活動報告」

公益財団法人静岡県グリーンバンク

長谷川剛司



# アドバイザーの確保

静岡県林業者協会(～R06)  
(伐木造材技術競技会)



競技会の審査員  
等に協力を依頼

(一社)フォレスターズ  
フォーラム(R07～)  
(伐木技術競技会を継続)



読み込み後、ブラウザで  
開いてください。



# 活動組織の位置と主なアドバイザーの配置

静岡県

0 20km  
1:220,000

- ・アドバイザーは、みどりの雇用指導員。
- ・組織に属する人より、自伐林家の方が融通が利く。
- ・この5人は、安全講習の実施も可能。

チェーンソー教本の

の遺伝子  
片平有信



フォレスタ  
鈴木礼



道づくりの匠  
宮本卓明



12代目林家

熊平智司



急成長経営体

高橋幸村



● 活動組織の位置

# アドバイザーの謝金・旅費

## 里山林活性化による多面的機能発揮対策アドバイザーの謝金・旅費について

アドバイザーはアドバイザーがこれまでの活動等で得た知識・経験をベースに、活動組織に対してアドバイスすることから、県予算単価を参考に5,250円/時間とし、原則として下記のとおり定める。

### 1 謝金

#### (1) 現地活動・講習会

- ・時間は、様式第4号で確認する。時間には、移動時間を含まない。

時間	摘要	金額
4時間以下	－	21,000円
4時間超 又は 講習会の事 前準備	・1時間毎に右の金額を加算する。 ・1時間未満の端数がある場合は、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げとする。 ・4時間を上限とする。	5,250円/時

#### (2) 電話・メール（現地活動、講習会後に電話やメールで追加のアドバイスを求められた場合）

- ・時間は、様式第4号で確認する。

時間	摘要	金額
10分ごと	－	875円

### 2 旅費

実走行距離1km当り18円とする。有料道路等は実費とする。

謝金：「アドバイザー制度の手引き（令和7年4月改定）」P8 大学講師級・地方公共団体室長級 5,200円

旅費：「自家用自動車を使用して旅行した場合の車賃の額について」（H17.2.28）

# アドバイザーの旅費算出方法

## 自家用車旅費計算書

氏名	
派遣日	7年8月18日 月
対象組織名	澤田鉄筋㈱奥野の会
出発地	静岡市・町
目的地	伊東市・町 奥野

アドバイザーの住所  
活動対象森林の大字等

項目		金額
車賃	18円/km 走行距離 190km	3,500円
有料区間	江間料金所 ~ 長泉沼津	1,410円
	江間料金所 ~	200円
	長泉沼津 ~	1,410円
その他		
合計		6,720円

車賃：自家用車を使用して旅行した場合の車賃の額について（静岡県）  
走行距離：Googlemap等で求められる往復距離（小数点以下は四捨五入） 95 km  
金額：100円未満切上  
有料区間：レシート添付不要

○ 静岡県静岡市〇〇区〇〇1234-56



📍 奥野ダム（松川）、静岡県静岡市〇

出発：🕒 現在時刻 ▼

🚗 〇〇高速道路 経由 1時間55分  
103.0km

最速ルート（交通量：通常）

詳細 共有

## 1 往復距離

Googlemap等で求められる距離としている（小数点以下は四捨五入）。

## 2 車賃 18円/km

## 3 金額

100円未満は切り上げる。

## 4 有料区間

ETCが普及していることから、レシートの添付は不要としている。

## 5 アドバイザーの確認

地域協議会が左記計算書を作成し、アドバイザーに提示・内容の確認を得ている。

# アドバイザー派遣の流れ

① 説明会(7月)で派遣予定を活動組織に伝える。

1 制度について (安全講習)

安全講習は、全ての活動組織で必須です。

	実施方法	時期	派遣予定者	
一條竹林整備組合	組織内講習会			対象森林が竹林の活動組織は、組織内講習会を実施してください。
西伊豆古道再生プロジェクト	アドバイザー派遣	9~10月	高橋幸村	
伊豆森林組合	組織内講習会			その他の活動組織には、アドバイザーを派遣します。
落合滝ノ平保全会	アドバイザー派遣	9~10月	高橋幸村	
有限会社鈴木造園山林部	組織内講習会			日程調整は、8月下旬から行う予定です。 活動組織は、伐木作業を行う構成員が参加できる日を3日程度報告してください。
澤田鉄筋佛奥野の会	アドバイザー派遣	8/18	片平有信	
合同会社アラハラスヤッホ	アドバイザー派遣	9~10月	片平有信	講習内容は、当日アドバイザーと相談して決めてください(アドバイザーの判断を優先)。
修善の森プロジェクトの会	アドバイザー派遣	9~10月	鈴木礼	
江川荘	アドバイザー派遣	9~10月	片平有信	
一般社団法人mata-ne	アドバイザー派遣	9/9	高橋幸村	
ふじのみや森風クラブ	アドバイザー派遣	9~10月	片平有信	
滝谷里山保全の会	アドバイザー派遣	9~10月	宮本卓明	
経心の森保全の会	組織内講習会			
NPO法人 伊久美・美山登山の会	アドバイザー派遣	9~10月	宮本卓明	
中里ムーミン村	アドバイザー派遣	9~10月	熊平智司	
株式会社里山再生クラブ	組織内講習会			
西山桜の郷気まま会	アドバイザー派遣	9~10月	熊平智司	
17	17		12	

➡ ② 活動組織に、安全講習の候補日(3日)の報告を依頼する。

↓ ③ アドバイザーの都合を確認する。

↓ ④ 日時・集合場所を活動組織とアドバイザーにお知らせする。

⑤ アドバイザーに依頼文書を出出(県・市町に立会依頼文書を原則発出)

↓ ⑥ アドバイザーによる指導・助言の実施

## 【里山林】安全講習の日程決定



静岡県GB 森林・山村(長谷川) <s-green@greenbanl  
宛先 [redacted]@yahoo.co.jp'  
BCC [redacted]

江川荘 [redacted]さま

・静岡県グリーンバンクの長谷川です。

・次のとおりアドバイザーを派遣するのでお知らせします。

日 時 10/22 (水) 午前9時

集合場所 江川代官屋敷駐車場

派遣講師 [redacted]

・講習内容で御希望があればお知らせください。

# アドバイザー派遣依頼の例

SG B第 FC84 号  
令和 7 年 9 月 11 日

様

公益財団法人静岡県グリーンバンク 理事長 鈴木一雄

里山林活性化による多面的機能発揮対策交付金事業のアドバイザー派遣について（依頼）

このことについて、下記により指導・助言をお願いします。

記

## 1 活動組織名、日時、集合場所など

活動組織名	指導・助言等実施者	集合場所	日時	備考
中里ムーミン村		調整中 (藤枝市助宗)	10 月 12 日 ( 日 ) 午前 9時 00 分	

## 2 指導・助言事項

- ・ 安全講習

## 3 その他

- ・ 指導・助言後、15日以内に様式第4号報告書を提出してください。

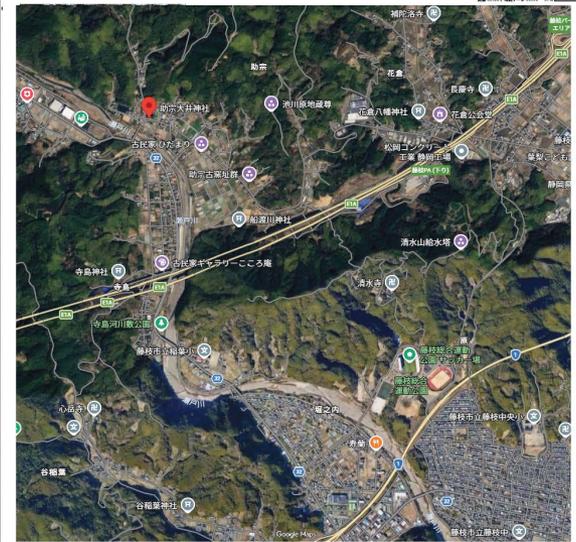
〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 担当：諸田・長谷川  
TEL 054-273-6987 FAX 054-255-6495

## 参加予定者の連絡先と集合場所

活動組織名	中里ムーミン村		
日時	令和7年 10月 12日	( 日 )	午前 8時 30分
参加予定者と連絡先	活動組織	5人の予定	080- [ ]
	アドバイザー		090- [ ]
グリーンバンクは立ち会わないので、写真撮影を忘れずをお願いします。			



集合場所



# R07アドバイザー派遣実績（活動組織別、15回）

活動組織名	内容	実施(予定)日	派遣アドバイザー	協議会立会
西伊豆古道再生プロジェクト	安全講習	10/27 (月)	高橋 ①	
落合滝ノ平保全会	安全講習	10/2 (木)	高橋 ②	
澤田鉄筋(株)奥野の会 (複業実践型)	森林施業	7/3 (木)	鈴木 ①	諸田・長谷川
	安全講習	8/18 (月)	片平 ①	諸田・長谷川
	路網計画	8/18 (月)	宮本 ①	諸田・長谷川
	木材搬出(軽架線)	12/27 (土)	片平 ②	
合同会社アラハラスヤッホ	安全講習	9/24 (水)	片平 ③	
修善の森プロジェクトの会	安全講習	9/18 (木)	鈴木 ②	
江川荘	安全講習	10/22 (水)	片平 ④	諸田・長谷川
一般社団法人mata-ne	安全講習	9/9 (火)	高橋 ③	諸田
ふじのみや森風クラブ	安全講習	10/25 (土)	片平 ⑤	
滝谷里山保全の会	安全講習	10/1 (水)	宮本 ②	
NPO法人伊久美楽山舎山の会	安全講習	1/15 (木)	熊平 ①	長谷川
中里ムーミン村	安全講習	10/12 (日)	宮本 ③	
西山桜の郷気まま会	安全講習	11/22 (土)	熊平 ②	

# 安全講習の内容例

事前又は当日に、アドバイザーが活動組織とヒアリングして、講習内容を決める。

・安全装備（ヘルメット、防護服等）の必要性や着用方法
・動力付き機械（チェーンソー等）の使用、点検、メンテナンスの方法
・伐倒作業の安全対策
・刈払い、玉切り作業等、伐倒以外の作業の安全対策
・手工具（ノコギリ、ナタ等）の使用、点検、メンテナンスの方法
・ヒヤリ・ハット事例の共有、負傷時や急病時の応急処置
・森林内の危険生物（ハチ、マダニ、ヘビ、ウルシ等）対策

# R07アドバイザー派遣実績（派遣順、15回）



7月 森林施業



8月 路網計画



8月 安全講習



9月 安全講習



9月 安全講習



9月 安全講習



10月 安全講習



10月 安全講習



10月 安全講習



10月 安全講習



10月安全講習



10月 安全講習



11月 安全講習



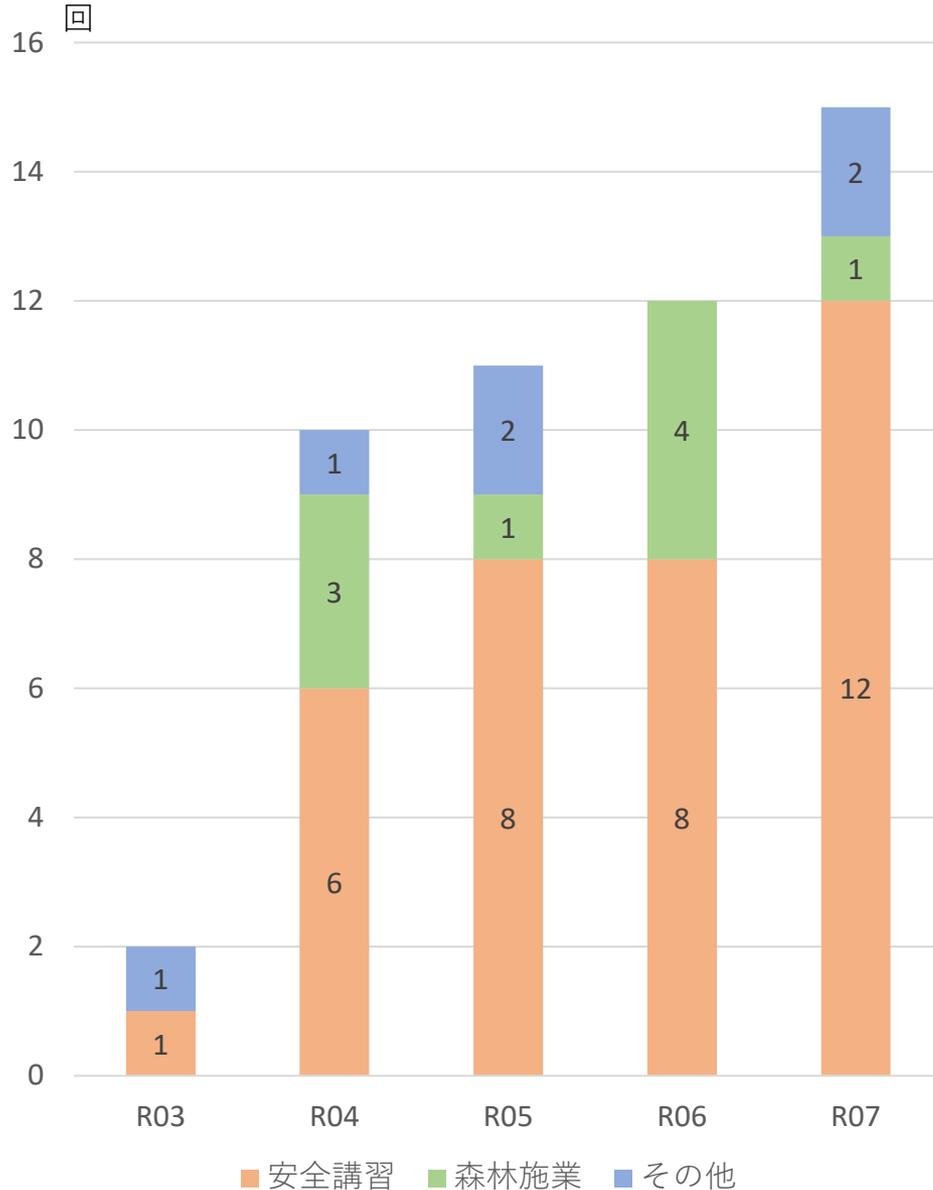
12月 木材搬出(軽架線)



1月 安全講習

謝 金：315,000円  
交通費：39,180円  
合 計：354,180円

# アドバイザー活用実績ほか



## ■ その他

ウィンチ・軽架線の使い方、路網計画・作業道作設、獣害対策、竹林管理

## ■ 森林施業

対象森林の将来像検討、モニタリング調査補助、森林整備・木材搬出、改植ほか



広葉樹林のモニタリング調査は、目標設定・調査方法など難しいため、積極的にアドバイザーを活用している。

## フォレスター鈴木、福井県に行く！

令和7年9月、ふくい林業研修センター

依頼: モニタリング調査の方法 (福井県 ⇒ 鈴木)

対応: 『ガイドライン』を抜粋し、要点を追記した資料を配布し、目的や必要性、混み具合調査や見通し調査のポイントを解説。また、調査の便利道具やちょっとした工夫を紹介。

# アドバイザーからの報告例

様式第4号

里山林活性化による多面的機能発揮対策アドバイザー指導・助言内容報告書

指導・助言を行った活動組織名	[REDACTED]	
指導・助言を行った活動組織の所在地	静岡県 [REDACTED]	
指導・助言を行った活動組織の担当者	(ふりがな) 氏名	[REDACTED]
指導・助言	日時	令和 7年 10月 2日 (日) 午前 9時00分から10時00分まで
	形態・参加人数・開催場所など	形態： 現地指導・講習会・電話・メール 参加人数： 11人 開催場所： 下田市落合 玉珠寺
	具体的な内容・成果など	【内容概要】 事前に研修内容の要望調査を行ったところ、ダニ対策などの虫対策講習会を実施して欲しいとの依頼から以下に重点を置いた研修会を実施した。 ①SPTS（重症熱性血小板減少症候群）とは？ ②症状：発熱や体調不良を感じたら ③静岡県内の発症例について ④対策：マダニに咬まれないための予防と対処法 ⑤その他  別添、研修資料を事前に作成し、当日持参し参加者へ配布した。対策については、普段林業者が行っている服装や装備、忌避剤の使用法や種類、現場から帰ってきた際に行う処理などを、実物を交えて講義を行った。またその他の項目として、ハチ刺され対策、エビベンについて、またその使用方法などを説明した。
	※次のページに写真など指導・助言の様子がわかるものを添付してください。	
	私は、里山林活性化による多面的機能発揮対策アドバイザーとして活動組織（又は地域協議会）への指導・助言を実施したので、上記のとおり報告します。  令和 7年 10月 3日 氏名 [REDACTED]  公益財団法人静岡県グリーンバンク理事長 様	

- ・指導・助言後、15日以内に地域協議会宛てに電子メール(s-green@greenbank.or.jp)で提出ください。
- ・謝金・旅費は、地域協議会が報告書を受理した後に、アドバイザーへ支払われます。

様式第4号

里山林活性化による多面的機能発揮対策アドバイザー指導・助言内容報告書

活動組織名	[REDACTED]	
活動組織の所在地	静岡県 [REDACTED]	
活動組織の担当者	(ふりがな) 氏名	[REDACTED]
指導・助言	日時	令和 7年 12月 27日 (月) 午前 9時から午後 1時まで
	形態・参加人数・開催場所など	形態： 現地指導・講習会・電話・メール 参加人数： 4人 開催場所： 活動対象森林
	具体的な内容・成果など	簡易架線指導 ・ロープワーク 架線設置指導 玉掛け指導 等
	※次のページに写真など指導・助言の様子がわかるものを添付してください。	
	私は、里山林活性化による多面的機能発揮対策アドバイザーとして活動組織（又は地域協議会）への指導・助言を実施したので、上記のとおり報告します。  令和 7年 12月 28日 氏名 [REDACTED]  公益財団法人静岡県グリーンバンク理事長 様	

- ・指導・助言後、15日以内に地域協議会宛てに電子メールで提出ください。
- ・謝金・旅費は、地域協議会が報告書を受理した後に、アドバイザーへ支払われます。

## 活動組織からの感想

安全に関する認識の不十分さを痛感する会だった。今後も様々な方が出入りする●●●●として安全に対する装備や認識をもう一度強めていく機会となった。

日頃作業員間で安全確認は行っているものの、慣れにより確認、準備事項が抜けてしまっていたことが確認できた。

- ・ヘルメットの期限切れ
- ・応急セットの準備不足（エピペン、止血帯）
- ・緊急連絡網の全員への周知
- ・圏外エリアの全員への周知

作業員同士ではなく、第三者から指摘、指導をしてもらえたことは、今後の活動の安全に大いに役立つと感じる。

現地確認では、新芽を育てるための切り方や、5年後10年後の起こりうる災害の話を変えながら、1日1日の安全と先を考えながら作業する重要性を認識できた。

●●講師のお父さんからチェーンソー特別教育の講習を令和6年4月に受けました。1年も経つと、忘れていること、意識していない事があり、最低限知っておかなければならないチェーンソーの仕組みを再確認する事が出来たと思います。

僕自身は、里山林の保全活動の中でもチェーンソーを使う機会が多く、普段からチェーンソーの掃除はしており、燃料についても気を付けています。この辺は再確認となりました。

個人的には目立てがうまくできないので、プロの目立てを近場で見ることが出来てよかったです。

あと、受け口の30度について、これは古い考えで、今は45度と聞き、より安全な手法で伐倒をしているのだと思いました。

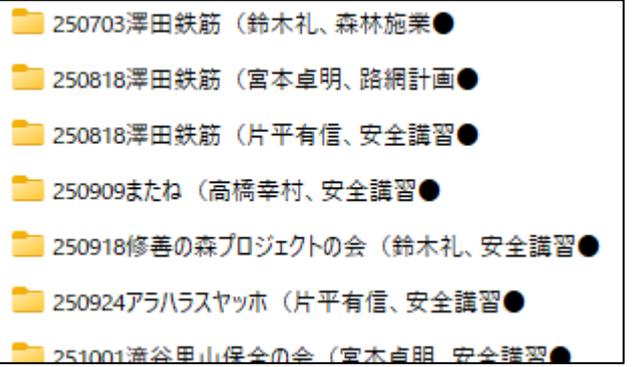
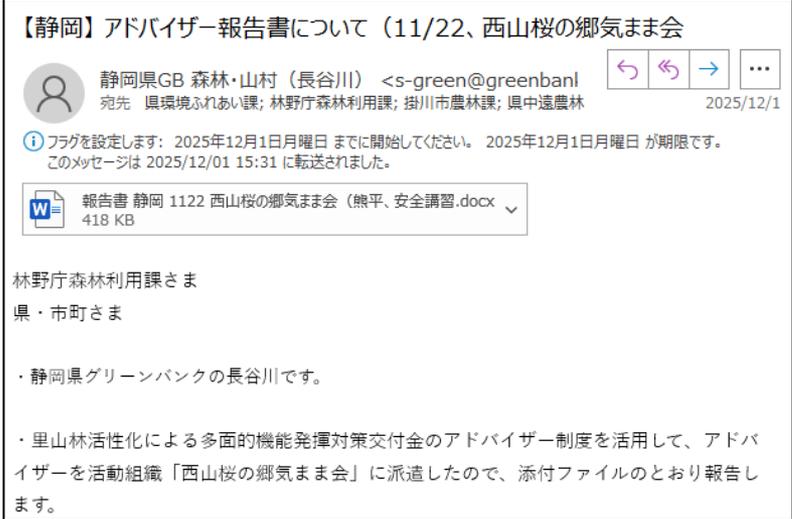
最後に、●●講師の自身が使う道具については、ちゃんと長さを把握している。それがガイドバーの高さというか、縦の長さだと知り、その長さを考え、受け口をしっかり作っているとの発言に感銘を受けました。短い時間ではありましたが、色々勉強させていただきました。ありがとうございました。

# アドバイザー派遣後の処理

- アドバイザーからの報告書(データ)をFC84「アドバイザー」のフォルダに保存する。
- ファイル名を「報告書 静岡 月日 活動組織名(アドバイザー苗字、指導内容)」に変更する。
- アドバイザーからの報告書(データ)をFC55「提出した書類など」のフォルダにコピーする。→
- マスターファイル(excel)へ入力する。
- 安全講習の場合は、安全講習計画(PowerPoint)の更新を確認する。
- フォルダ名の最後に「●」を入れる。
- アドバイザーからの報告書(データ)を林野庁に送信する。
- 県・該当県農林事務所・市町とメールで情報共有する。
- 支払を経理担当に依頼する。
- 起案文書・報告書を紙フォルダに綴じる。



交通費を含め源泉徴収して口座に振り込む。



【テーマ：資源活用の実施例】

※ 終了後に、記録シートのご提出をお願いします。貴重なご意見として他の地域協議と共有させていただきます。

役割	司会進行役 様                      書記役 様                      発表役 様
討 議 内 容 メ モ	○資源活用における具体的な取組例など
	○資源利用における工夫点など
	○資源利用における課題など
	○資源利用における今後の展開など
□発表内容とりまとめ・備考など	

**【テーマ： 地域協議会の運営等について】**

※ 以下の5つの論点の中から、1つまたは複数を選択し、地域協議会の運営等をテーマにご議論ください。

【1】 協議会運営上の悩みや対処法 【2】 4年目以降の活動継続に向けた方策（自治体や企業との連携等）

【3】 クマ対策を含めた安全対策 【4】 関係人口を広げる方策 【5】 アドバイザー活用方策 【6】 その他

※ 発言内容を下の枠内にご記載ください。

※ 終了後に、記録シートのご提出をお願いします。貴重なご意見として他の地域協議と共有させていただきます。

地域協議会の運営上での悩み・課題など							悩み・課題等に対する見解・対応方法・工夫点など	
論点	1	2	3	4	5	6	※1～6のいずれかに○ ※6のその他の場合は、論点を具体的に記載してください。	

# 令和7年度 里山林活性化による多面的機能発揮対策普及セミナー アンケート

この度は「令和7年度 里山林活性化による多面的機能発揮対策普及セミナー」にご参加いただき、誠にありがとうございます。今後の情報提供等に当たっての参考とさせていただきたく、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

※該当する数字に○印をつけてください

【ご所属】 1. 都道府県 2. 地域協議会 3. その他( )

Q1: 「活動組織の取組事例発表」のご感想を教えてください。

1. 大変参考になった 2. 参考になった 3. ふつう  
4. あまり参考にならなかった 5. 参考にならなかった

Q2: 「アドバイザー活動報告」のご感想を教えてください。

1. 大変参考になった 2. 参考になった 3. ふつう  
4. あまり参考にならなかった 5. 参考にならなかった

Q3: ワークショップのご感想を教えてください。

1. 大変参考になった 2. 参考になった 3. ふつう  
4. あまり参考にならなかった 5. 参考にならなかった

Q4: フリーディスカッションのご感想を教えてください。

1. 大変参考になった 2. 参考になった 3. ふつう  
4. あまり参考にならなかった 5. 参考にならなかった

Q5: 今年度の普及セミナーに関してご意見・ご感想があればご記載ください。(自由記述)

Q6: 来年度の普及セミナーに向けてのご意見・ご希望があればご記載ください。(自由記述)

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

※アンケートの結果は、本セミナーの運営管理ならびに令和7年度里山林活性化による多面的機能発揮対策検証事業に関わる請負業務の目的にのみ活用させていただきます。